

くすのき

第 82 号

おもな記事

- ◆令和5年度全国学力・学習状況調査 1面
- ◆小・中学生人権啓発ポスターコンクール 2面
- ◆教育施設改修工事の状況 3面
- ◆市内中学校との交流 4面
- ◆教育に関する相談及び不登校に係る支援 4面
- ◆各幼稚園・こども園・保育園の取組 5・6面

発行:八幡市教育委員会 令和6年(2024年)3月8日
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省による全国学力・学習状況調査が、小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました。例年の国語、算数・数学に加え、今年度は4年ぶり2度目となる英語が実施されました。また、質問紙調査と英語の「話すこと」調査において、1人1台端末であるタブレットを利用したオンライン方式により初めて行われました。

質問紙調査の結果を昨年度と比較したところ、肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、左の表のような結果になりました。

肯定的な回答をした割合(%)	小学校		中学校	
	R 4	R 5	R 4	R 5
自分には良いところがあると思いますか	73.2	83.6	71.7	75.1
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.1	95.6	90.0	93.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.5	84.2	76.1	81.1
算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	80.0	80.0	69.5	71.8

「自分には良いところがある」と肯定的に捉えている児童・生徒の割合が増えているとともに、「授業の内容がよく分かる」と回答した児童・生徒が増加傾向にあり、コロナ禍による制限がなくなったことで落ち着いた学習環境が戻りつつあることが伺えました。

GIGAスクール構想で整備したタブレット端末の活用も定着し、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善の積み重ねが成果として表れてきたものと考えています。

読書と教科との相関

す。タブレット端末の利点である、個別最適な学びを、さらに進めていきたいと考えています。

八幡市立全小・中学校の読書時間と平均正答率の相関を見ますと、小学校6年生では1日当たり2時間以上読書をする児童の国語・算数の正答率が最も高く、1日当たりの読書時間が短くなるにつれて正答率が下がる傾向が見られました。対して、中学校3年生では2時間以上読書をする生徒の正答率が低くなる傾向がみられ、30分から1時間程度読書をする生徒がどの教科においても最も高い正答率となりました。

中学校では、計画的に学習を進めている生徒の正答率が高い傾向が顕著であり、

平均得点率(%)	小学校6年生		中学校3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語
2時間以上	76.6	69.2	55.1	43.5	36.1
1~2時間	70.0	61.0	68.6	45.6	44.4
30分~1時間	71.2	63.1	78.1	60.1	55.0
10分~30分	66.7	58.8	69.3	52.4	46.4
~10分	63.3	57.6	68.5	51.0	45.1
全くしない	63.2	56.8	60.3	40.6	36.2

社会を知ることの大切さ

主体的に学ぶ姿勢が重要であることが改めて示されたものと捉えています。

「人の役に立つ人間になりたい」という児童・生徒の割合が高いことは、大変望ましいことだと考えています。しかし、「今住んでいる地域の行事に全く参加しない」という割合が、小学校6年生の20%から中学校3年生の43%に増加しており、年齢を重ねるにつれ、社会との繋がりが希薄化していることが見えてきます。「自分に何ができるのか」「何を必要とされているのか」を知ることは簡単なことではありませんが、「体験」することが重要なのではないかと考えています。地域の行事に参加し、社会に求められていることについて考える機会にしてほしいと思います。

令和5年度全国学力・学習状況調査の問題、正答例は「国立教育政策研究所」のホームページで公開されています。

(学校教育課)

第27回八幡市小・中学生人権啓発ポスターコンクール表彰式

12月2日(土)、八幡人権・交流センターにおいて「第27回八幡市小・中学生人権啓発ポスターコンクール表彰式」を行いました。 ※人権フェスタの第2部として開催しました。

「人権」(人に対する思いやり、やさしさ、友人関係、いじめなど)について日頃感じていること、願っていることを絵画と言葉で表現する本コンクールには、市内の小・中学生から総数799点の応募があり、市長賞に安部 友莉佳(アベ ユリカ)さん(男山東中学3年)の作品「どんな形でも笑顔になれる世界へ」が選ばれました。

表彰されました受賞者15名は、次のとおりです。なお、優秀賞については3ページに記載しています。
(こども未来課)

受賞作品



市長賞

安部 友莉佳
(男山東中学校3年)



教育長賞

武藤 このは
(くすのき小学校6年)



人権教育推進協議会 会長賞

田中 紗彩
(男山第三中学校1年)



教育長特別賞

阿部 楓香
(さくら小学校6年)



人権教育推進協議会 会長特別賞

矢野 純蓮
(中央小学校5年)



優秀賞

谷川 幸來（八幡小学校5年）
長村 茉衣（橋本小学校6年）
山田 朋（南山小学校5年）
高谷 紗良（美濃山小学校6年）
橋本 夏葵（男山第二中学校1年）

吉川 玲奈（くすのき小学校6年）
木村 莉亜（有都小学校5年）
来海 倫（美濃山小学校6年）
花澤 由衣（男山中学校2年）
田野 結愛（男山東中学校1年）

敬称略・順不同

教育施設改修工事の状況

令和元年度より小中学校体育館に空調を毎年度2校、整備しています。令和5年度は中央小学校と美濃山小学校に設置しました。また、体育館は災害時に避難所となることから、生活環境改善に配慮し、令和5年度より、輻射式パネルを併用した冷暖房システムを導入しました。

また、同時に照明のLED化とトイレの洋式化、乾式化、バリアフリートイレの整備も行いました。
(こども未来課)



寄贈

八幡市の教育環境の整備充実に役立ててほしいと11月17日、株式会社アール代表取締役 川上 大輔さまから、図書室用イス12脚、テーブル6台。
八幡市立さくら小学校に<寄贈>をいただきまして、ありがとうございました。

(こども未来課)

市内中学校との交流が始まりました

八幡市立男山第二中学校と八幡市立図書館の交流が始まり、自動車文庫運行、絵本の読み聞かせ講座、POP フェスを行いました。

自動車文庫は7月と10月に男山第二中学校へ赴きました。学校にない本に目を輝かせる生徒の様子が見られ、合わせて約130冊の貸出となりました。学期ごとに一度運行を予定しています。

絵本の読み聞かせ講座は3年生の家庭科の授業として、10、11月に男山第二中学校で行いました。絵本の読み方や年齢に合わせた選び方などを説明し、中学生へ絵本の読み聞かせも行いました。班ごとに読み聞かせを実践する際には、始めは照れがありましたが、次第にコツをつかむ様子が見られました。

本の紹介POPを作成し、全校から選ばれた120枚を10月から2か月ずつ男山、八幡市民図書館両館でPOPフェスとして展示しました。イラスト、仕掛けが目を引き、紹介文も面白く、足を止める利用者が多く見られました。

市内中学校との交流を始めた経緯として、中高生の図書館利用の減少があります。勉強や部活動にける時間が多くなり、読書をする時間は少なくなります。今回の交流が新たな本の出会いの場となればと思います。

1月からは男山東中学校との交流も開始しました。さらなる読書活動の一助になれば幸いです。

(市民図書館)



教育に関する相談及び 不登校に係る支援

【問い合わせ】

八幡市教育支援センター

所在地：八幡市男山笹谷2

電話：075-982-3001

時間：平日 午前9時～午後5時

教育に関する相談

市内在住の幼児・小・中学生とその保護者の相談に、教育相談担当指導主事及びカウンセラーが応じます。

不登校支援 教育支援教室「さつき」

個の興味・関心に応じた活動や個の状況に応じた学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。

市内在住で不登校の小・中学生が対象です。

※学校または教育支援センターに電話でお申し込みください。

令和5年度 幼稚園・こども園・保育園の取組

「ありがとう八幡幼稚園」－ 八幡幼稚園

就学前施設の再編に伴い“八幡幼稚園”として過ごす最後の一年。来年度に統合するみその保育園とは、互いの園を行き来し交流してきました。秋の“絆フェスタ”では、八幡小学校校区の5歳児と一緒に歌を発表し、たくさんの拍手をいただきました。これまで、保護者の方や地域の皆様に温かく見守られ、子どもたちはのびのびと園生活を楽しむことができました。心より感謝いたします。



「ポップコーン作り」－ 八幡第三幼稚園

イエローポップの種まきをした日から、ポップコーン作りを心待ちにしていた5歳児。3・4歳児を招待して、ポップコーンパーティーを企画し他にも「おもちゃ屋」「おまけコーナー」なども作りたいと話し合い、異年齢児がどうしたら楽しみ、喜んでくれるか相手のことを考えながら準備していました。当日は「みんな喜んでくれた」という達成感と充実感を味わうことができました。

「鏡餅づくり」－ 八幡第四幼稚園

みんなでついたお餅で鏡餅をつくりました。グループでの制作過程で、最初は自分の考えを口々に発言したり、個々につくり始めたりしていた子どもたち。相手の考えにも耳を傾けることや、誰がどの部分をつくるか分担するとよいことに気付くと、スムーズに進みました。考えを出し合いながら必要な材料を選び、うまく組み合わせるなど工夫して作る姿が就学につながるのだと感じました。



「自然散策」－ 橋本幼稚園

年長児だけで電車、ケーブルを乗り継ぎ、ケーブル八幡宮山上を目指しました。車内では、降りてくるケーブルとすれ違い驚きの歓声があがっていました。展望台からは、三川合流地帯やさくらであい館を見つけ喜んでいました。紅葉の中の散策。園までの道のりをしっかり歩いたので、昼食をパクパク食べていました。穏やかな日で、地元の自然や文化に触れる一日となりました。

「田植え」－ 有都こども園

毎年、子どもたちに豊かな体験ができるようにと4・5歳児が田植えや稲刈りをしています。今年は、民生児童委員さんも参加してくださり、一緒に田植えをしました。「ヌルヌルする！」と泥の感触を味わい、楽しそうな子どもたちでした。秋には苗が立派な稲穂になりました。いつも見守ってくださる地域の方とともに大きな愛情に包まれ、子どもたちもぐんぐん育ってほしいと思います。



「たいこ祭り」－ 南ヶ丘保育園

南ヶ丘保育園では、毎年「たいこ祭り」に取り組んでいます。5歳児に進級すると、皆で意見を出し合いながらみこしを作りを始めます。本番では、沿道で保護者や地域の方々の応援を受けながら、「ヨッサー ヨッサー」と元気に地域を練り歩きます。こうして地域の中で見守られていることを実感しながら、友だちと気持ちを合わせる大切さ、心強さを学んでほしいと願っています。



「とんどさん」－ 南ヶ丘第二保育園

竹やわらで組まれたやぐらに正月飾り等をつけて焼く伝統行事の「とんどさん」を、園児たちの無病息災を願い毎年行っています。やぐらに火がつき竹がポンッ！と弾けるたびに、驚きながらも手を合わせて「友達と仲良く遊べますように」「みんなが安心して暮らせますように」等思い思いにお願い事をしていました。地域の方のご協力のもと出来る行事を子どもたちと大事にしていきたいです。



「クリスマス会」－ みその保育園

12月、園のホールでクリスマス会がありました。子どもたちが作った思い思いのリースやツリーが飾り付けられ、当日は三角帽子やケープ、ベストなどを身に付けて参加し楽しみました。サンタクロースの登場に、目をキラキラさせて見入る姿があり、プレゼントをもらおうと大喜びでお礼に歌の披露をしました。最後はドキドキしながら一緒に記念撮影し握手をしてもらいました。



「大根の収穫」－ わかたけ保育園

10月に種をまいた大根が立派に育ち、「はっばチクチクするなあ」「こんなおっきいの採れた！」と友達と感じたことを伝え合いながら、収穫し、大根ステーキや豚汁クッキングをしました。自分たちで育てた大根の味は格別であつという間に完食でした。これからも自然に触れる体験を大切にしながら、菜園活動やクッキングを通して、食育への関心も深めていきたいと思ひます。

